

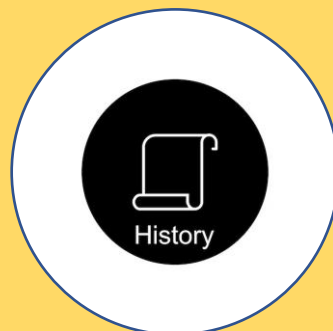


田沢湖セミナーについて

2025年 7月5日（土）～6日（日）
田沢湖温泉郷 ホテルグランド天空

顧問 山田俊幸（群馬パース大学副学長 自治医科大学名誉教授）
実行委員 斎藤裕之（秋田赤十字病院）
鈴木徳和（花園病院）
大崎 彩（星総合病院）
小堺利恵（東北医科薬科大学病院）
山田太一（わたり病院）

歴史



1980年に第1回田沢湖セミナーが開催しました。設立時は藤田清貴（現群馬パース大学）と櫻林郁之助（自治医科大学名誉教授）を中心に東北6県の有志が集まり、当時まだ発展途上であった電気泳動を中心に実習や演題発表などをおこなうセミナーでした。その後、時の流れとともに電気泳動からRCPCを学ぶように変化しています。

初夏といえば「田沢湖セミナー」と認識されるようになり45年が経ちます。

2019年に山田俊幸（自治医大）を顧問に迎え実行委員とともに現代のニーズに沿いながらも実習やRCPCを中心に企画されたセミナーです。

方針



当セミナーは「RCPC×実習×交流」を掲げています。

実習を始めRCPCでもグループを形成し常時ディスカッションできる仕組みを作っています。グループは多様な意見を受け入れ議論することができ、発想豊かな検査技師の成長に寄与します。また、そこからの交流によりセミナー後であっても個々のつながりを持つことができます。

実習は普段携わることのない技術であっても考え方を学ぶために必要です。極力、どこの施設でもできる企画としていますが、日常業務にはない楽しさと学びがあります。

田沢湖セミナーのポリシーは参加者からも受け入れられています。

雰囲気



会場は温泉郷に位置しロケーションは最高です。リピーターが多いこともあるようですが、学会や研修会とは異なる和やかな雰囲気が漂います。参加者は20代～30代が8割を占めます。参加者の施設は大学病院からクリニックまで施設の規模に関わらず初参加でもセミナー終了時には笑顔で帰宅されます。

